

日時

2019年11月6日（水）

18:30 - 20:30（受付18:00 -）

会場

かでのる2・7 610/620会議室
（札幌市中央区北2条西7丁目1番地）

この春から日本では、一億総活躍社会の実現を目標に掲げ、政府主導の「働き方改革」が始まりました。少子高齢化や生産年齢人口の減少による国力低下への懸念がある中、「働き方改革」では、働き手の獲得と出生率の上昇、労働生産性の向上が目指されています。今後、人々の働き方はどう変わることになるのでしょうか。講師2名を迎え、女性と若者からみた働きやすい職場をテーマに、皆さんと議論したいと思います。

■ PART 1 テーマトーク

働き方改革とジェンダー・日本的経営

三山 雅子 氏（同志社大学社会学部教授）

北海道大学大学院教育学研究科博士課程、日本労働研究機構（現日本労働政策研究研修機構）雇用職業構造担当研究員を経て、現職。専門領域は、現代日本の労働問題、とりわけパートタイム労働問題。元北海道ジェンダー研究会会員。

若者の労働実態

～さっぽろ青年ユニオンの事例から～

佐賀 正悟 氏（さっぽろ青年ユニオン執行委員）

北海道勤医協労働組合の専従スタッフの業務に加え、さっぽろ青年ユニオンの組合員としても活動。職場に労働組合活動を定着させることを目的に医療・介護現場の労働者や20代非正規労働者からの労働相談を受ける。一児の父として奮闘中。月4回はワンオペ育児。

■ PART 2 グループトーク

「働き方改革」と労働
若者・女性の視点から